

工業技術支援アドバイザーの紹介

特定非営利活動法人 結人の紬
坊岡 正之 (ぼうおか まさゆき)



【専門部門】 福祉工学

【専門分野】 リハビリテーション工学、生活支援工学、福祉用具・介護ロボットの開発適応評価

【略歴資格等】 元広島国際大学リハビリテーション支援学科 教授
特定非営利活動法人結人の紬 理事長
博士(医療工学)
介護福祉士
住環境コーディネータ 2 級

【アドバイザーから一言】

特定非営利活動法人結人の紬 <https://yuto-tsumugi.net> 令和 3 年版高齢社会白書(内閣府)によると、令和 2 年 10 月の高齢化率は 28.8%で増え続けており、令和 47(2065)年には国民の 2.6 人に 1 人が 65 才以上の高齢者になると推計されています。また、加齢による身体機能や認知機能の低下は、高齢者の日常生活における自立度の低下にも影響を及ぼし、介護を必要とする高齢者が増加すると考えられます。しかし我が国の現状は、成人人口の減少や核家族化による家庭介護の限界から、介護が必要な人に十分な介護を提供できる環境ではありません。このような人による介護の限界を打破するのが、福祉用具(介護用具・介護ロボット)です。車いす等の移動支援や、食事・排せつ支援等に対応する介護用具・介護ロボットが必要とされています。

しかし、これらの開発には福祉現場のニーズと企業のシーズのマッチングが必要と言われ、厚生労働省は平成 30 年度より”介護ロボットニーズ・シーズ連絡協議会”を立ち上げ、お互いが共通の言語で情報共有することが可能な活動を支援してきました。私は、この協議会でシーズ川プロジェクトコーディネータとして活動を行ってきました。専門である福祉工学と福祉現場で働いた経験を基に、ニーズ・シーズのマッチングにお役に立てると思っています。

【研究内容の紹介】・【賞歴】・【その他】

介護ロボットニーズ・シーズ連絡協議会におけるプロジェクトコーディネータとしての活動とテーマ

2018年高知県：誤薬事故防止のための与薬業務支援ロボット

広島県：「やってみたい」が生まれるメンタルスタビリティロボット

島根県：排泄時のズボン着脱衣を支援するロボット

香川県：顔認証システムを用いた介護サービス利用者のアクティブサポートシステム

徳島県：送迎中の緊急時対応を支援するロボット

2019年高知県：誤薬事故防止のための与薬業務支援ロボット

広島県：緊急時の判断を補助する夜勤パートナーロボット

岡山県：適切な福祉用具選定をするための福祉用具検索ロボット

2020年佐賀県：ストーマ容量及び漏れの早期通知による当事者及び介護者への支援ロボット

【HP・Facebook】 特定非営利活動法人結人の紬 <https://yuto-tsumugi.net>